

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	BOOK (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士で日頃から子どもや保護者の様子や気になること、変化などを話し合い、課題の共有をしている。	・家庭での様子など、事業所以外での過ごし方などをアセスメントし、変化に対応できるように心がけている。 ・子育ての悩みや相談に対して、アドバイスやカウンセリングを行っている。	特性の理解や育て方などの悩みに対して、継続して保護者会や相談会などを行っていきたい。
2	様々なイベントを開催している。	さいたま市が開催している「市民のつどい」を始め、他事業所と流しソーメン、ハロウィンレクを実施するとともに、BOOKでは遠足、餅つき等に参加・実施している	子どもたちも含め、職員も一緒に楽しめるようなイベントを計画していく。
3	関係機関との連携	学校からの相談、関係機関と定期的な勉強会及び支援会議を行っている。	事業所の予定に組み入れ、勉強会等への参加者を増やしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアル(緊急対応、感染症など)の周知がされていない。	閲覧できるような場所に置いていないため、見てもらう機会がない。	閲覧できるような場所に設置する。
2	保護者同士の交流機会が少ない。	保護者が参加するイベントが少ないこと。	保護者、兄弟が参加できるイベントの企画を行っていく。
3			